

斑点米が多発しています！白カルトンで着色玄米数を確認し、色選感度を調節して1等米に仕上げましょう！

R6 年 9 月 JA 佐渡営農振興課

◎防除所では

被害が予想される程、病害虫が多発して早急に防除を必要とするとき「青帯が付いた注意報」を発表します。

◎7/10 に新潟県から、8/7 には農林水産省からも斑点米カメムシの多発が予想されていました。

◎米穀検査が始まりましたが、斑点米の為に格落ちする事例が多く見られます。



斑点米が基準以上に混入した生産物は、農産物検査で落等してしまいます。

令和6年度病害虫発生予察情報・注意報第2号
(カメムシ類による斑点米の多発に注意)

令和6年7月10日
新潟県病害虫防除所

病害虫名 斑点米カメムシ類

- 1 対象作物 水稻
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生程度 多い
- 4 注意報の根拠

- (1) アカシジカミカメの7月上旬の畦畔すくい取り調査における虫数は平年並であるが、確認地点率が平年比高い。
- (2) アカヒゲホソミドリカミカメの7月上旬の畦畔すくい取り調査における虫数は平年並であるが、確認地点率は平年比やや高い。
- (3) オオトゲシラホシカメムシの7月上旬の畦畔すくい取り調査における虫数は平年比やや少なく、確認地点率は平年並。
- (4) 向こう1か月の気温は平年比高いと予想されており、斑点米カメムシ類の増殖や水田侵入後の加害活動が活発になると推測される。

令和6年8月7日
農林水産省

「令和6年度病害虫発生予報第6号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 水稻では、斑点米カメムシ類の発生が、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 豆類では、吸害性カメムシ類の発生が、北東北、北関東、北陸、東海及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。

★検査規格では「0.1%を超えると2等米、0.3%を超えると3等米、0.7%を超えると規格外」と数量的に厳しく定められています。

★着色粒(斑点米)が**中型カルトン(底直径 13.5 cm)は米粒を平らに並べると 1000 粒なるので、2 粒以上混入していると2等へ格落ちする計算になります。**

★正式な格付けは資格のある米穀検査員が行います。



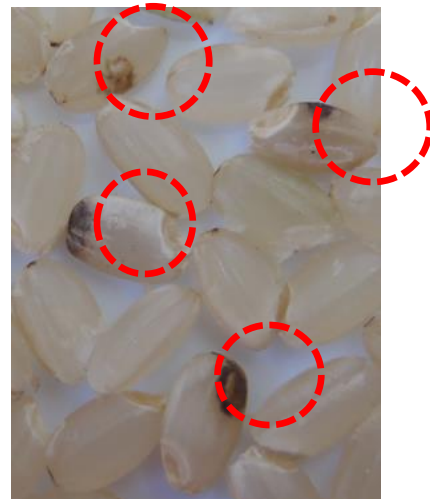
JA で販売しています



1000 粒に 4 粒混入すると 3 等に！
粒斑点米が確認できます



虫眼鏡で拡大すると良くわかります



1000 粒に 4 粒混入すると 3 等に！